東京大学附属図書館
アジア研究図書館
上廣倫理財団寄付研究部門

UEHIRO PROJECT FOR THE ASIAN RESEARCH LIBRARY

2020

U-PARL

ABOUT U-PARL

OUR AIM

東京大学附属図書館アジア研究図書館上廣倫理財団寄付研究部門Uehiro Project for the Asian Research Library（U-PARL）は、公益財団法人上廣倫理財団の寄付を得て、2014年4月に附属図書館に設置された研究組織です。

東京大学では、2010年に開始された「新図書館計画」のもと、総合図書館の拡充と刷新のための改築が進められてきました。その計画の柱の一つが、2020年10月に予定されているアジア研究図書館（総合図書館4階）の開館です。

U-PARLは、その第一期（2014～2018年度）において、アジア研究図書館の構築支援を主要なミッションとして掲げ、蔵書構築、請求記号体系の策定、フロアプランの検討に加え、セミナー、ワークショップの開催などの活動を積極的に行なってきました。

2019年度より開始された第二期では、アジア研究図書館を活用した新たなアジア研究の発展を見据え、協働型アジア研究拠点の形成、研究図書館機能開拓研究、人材育成と社会還元、アジア研究図書館構築支援を柱とした活動を実施しています。

蓑輪顕量（部門長）

兼務教員：蓑輪顕量（部門長）、田辺明生、森本一夫、上原究一（副部門長）/特任准教授：永井正勝（副部門長）/特任助教：徳原靖浩/特任研究員：荒木達雄、河﨑豊、河原弥生、近藤隼人、澁谷由紀、中尾道子/学術支援職員：袁浩春、上出徳太郎、佐治奈通子、澁谷秋、谷口力光、中井勇人、水上香織、水上遼、李筱婷/事務補佐員：小澤智子、吉川仁美

U-PARLの活動は、大きく分けて「協働型アジア研究拠点の形成」、「研究図書館の機能開拓研究」、「人材育成と社会還元」、「アジア研究図書館の構築支援」からなり立っています。

MISSION 1

協働型アジア研究拠点の形成

- 図書館の強みを活かしたアジア研究の推進
- 学術ネットワークの構築

MISSION 2

研究図書館の機能開拓研究

- デジタルリソース研究
- 研究情報資源の管理提供研究
- 研究図書館に関する調査研究と相互交流

MISSION 3

人材育成と社会還元

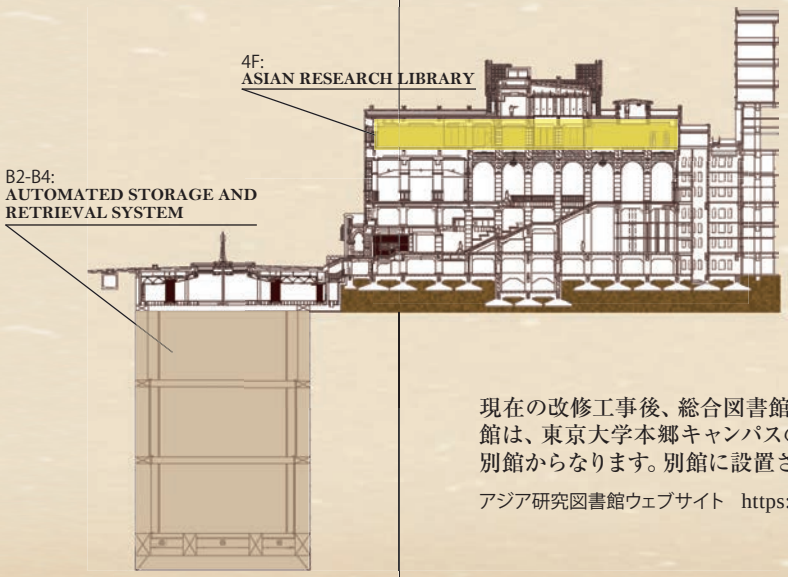
- セミナーやワークショップの開催
- 出版物の刊行
- データベース公開
- ウェブ上での研究情報の公開

MISSION 4

アジア研究図書館の構築支援

- フロアと制度の検討
- 蔵書構築

ASIAN RESEARCH LIBRARY



総合図書館正面

総合図書館（別館地下1階）
ライブラリープラザ

現在の改修工事後、総合図書館本館の4階がアジア研究図書館の開架フロアとなります。総合図書館は、東京大学本郷キャンパスの拠点図書館であり、90年の歴史を持つ本館と2017年に完成した別館からなります。別館に設置された自動書庫にもアジア研究図書館蔵書が収蔵される予定です。

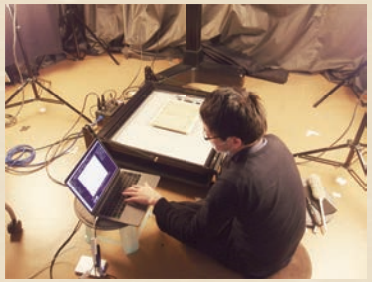
アジア研究図書館ウェブサイト　https://www.lib.u-tokyo.ac.jp/ja/library/asia/

MISSION 1

協働型アジア研究拠点の形成

- 図書館の強みを活かしたアジア研究の推進
- 学術ネットワークの構築

U-PARLスタッフの専門領域は、仏教学、人類学、歴史学、文学、書誌学、言語学、文献学、哲学、美術史学など多岐にわたります。また研究対象地域は広く東アジア、東南アジア、南アジア、中央ユーラシア、西アジアにまたがっています。



『五経大全節要演義』二十三巻（缺一巻）、『儀礼註疏節要』残三巻、『左伝節要』六十六巻、『忠義水滸全書』一百二十回図一巻、*Vedische und Sanskrit-Syntax* の5タイトルの撮影を行いました。

MISSION 2

研究図書館の機能開拓研究

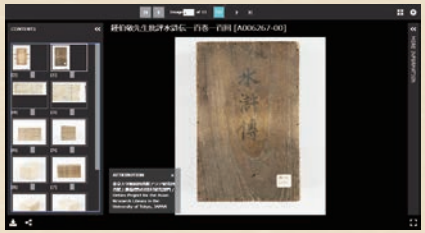
- デジタルリソース研究
- 研究情報資源の管理提供研究
- 研究図書館に関する調査研究と相互交流

新しい図書館には、紙資料とともに電子資料のアーカイブを構築していく新たな役割が求められます。画像へのアクセスを標準化し、相互運用性を確保するための国際的な規格であるIIIF（International Image Interoperability Framework の略称）形式でアジア関連資料の公開を行っています。

「東京大学アジア研究図書館デジタルコレクション」

東京大学アジア研究図書館ならびに総合図書館等の所蔵するアジア関連学術資源の高精細画像を提供しています。

https://iiif.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/repo/s/asia/page/home



「水滸伝コレクション」

東京大学が所蔵する水滸伝諸版本からU-PARLが選りすぐった版本をデジタル公開しています。現在までに3種の公開が完了し、今後も追加する見込みです。

研究図書館の機能を探究する

世界トップレベルの研究図書館では、各研究分野の専門的知識を備えたサブジェクト・ライブラリアンが蔵書構築を担い、最先端の研究活動を支えています。U-PARLでは、国内外の図書館との交流を通じて、アジア研究の専門的人材が図書館において果たすべき役割を探求しています。

ライブラリープラザでのイベント

MISSION 3

人材育成と社会還元

- セミナーやワークショップの開催
- 出版物の刊行
- データベース公開
- ウェブ上での研究情報の公開

U-PARLはアジア研究に関する情報を積極的に発信しています。

『図書館がつなぐアジアの知—分類法から考える』
（東京大学出版会、2020年刊、ISBN 978-4-13-003602-3）

本館4階のオープンに先駆けて、本館3階で、アジア研究図書館蔵書の利用が始まっています。

MISSION 4

アジア研究図書館の構築支援

- フロアと制度の検討
- 蔵書構築

図書館のあり方は日々変化していますが、その根幹はやはり所蔵する資料にあります。U-PARLでは、新規購入、寄贈資料の受入れ、学内の図書館・図書室の資料の統合の三方向から、アジア研究図書館の蔵書構築を推進しています。

国内外の研究図書館との交流

ハワイ大学マノア校図書館との交流

ワシントン大学東アジア図書館との交流

【左上下】ロンドン大学東洋アフリカ研究学院（SOAS）図書館訪問
【右】オックスフォード大学ボドリアン図書館訪問

図書の移管作業の様子

2020年10月に予定されているアジア研究図書館開館に向けて構築支援を行っています。

「アジアンライブラリーカフェ」

「インドと私と『百年泥』」

小説『百年泥』により第158回芥川賞を受賞された本学卒業生の石井遊佳さんをお招きしました。

図書館総合展ポスター発表

U-PARLについて広く知っていただくため広報活動にも力を入れています。

「アジア資料目録作成ワークショップ」

「ペルシア語とアラビア語編」

研究者、ライブラリアンが広く協力し、課題を共有し、ともに学び合う場を提供しています。

アジア研究に関する情報を発信するU-PARLウェブサイト
http://u-parl.lib.u-tokyo.ac.jp/

東京大学
THE UNIVERSITY OF TOKYO

U-PARL 公式ウェブサイト　　U-PARL 公式ツイッター

東京大学附属図書館アジア研究図書館上廣倫理財団寄付研究部門

〒113-0033　東京都文京区本郷7-3-1

ph: 03-5841-4043　fax: 03-5841-4074

http://u-parl.lib.u-tokyo.ac.jp/

Twitter: https://twitter.com/U_PARL